

学校・校区行事参加型+講演会型(小学校)

学校名等	高山市立江名子小学校
実施日時	平成29年10月28日(土)
会場	江名子小学校(体育館・第2体育館・校舎・グラウンド)
参加人数	全校児童(263名)・保護者等(約350名)
学習課題(分野)	<p>☆家族参観日☆</p> <p>親子研修会</p> <p>「遊ぶ環境」作りはまず身近な大人が遊ぶことから</p> <p>江名子校区まちづくり協議会</p> <p>THE BOSAI 2017 楽しく学ぼう 防災のウラ技</p>
運営者の願い	「遊びのワークショップ付き講演」において、親子と一緒に遊び触れ合うことがとても大切だということを感じてほしい。また、防災の体験活動では、地震や水害などによる被害があった時に、自分で自分を守る技を身につけてほしい。

学習の内容

<取組内容>

- ① 授業参観
- ② 親子研修会

講師： 早川 隆志 氏
(NPO法人 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊理事長)

遊びのワークショップ付き講演

講演

- ◇大人に必要な「子ども力」「遊び力」
- ◇「遊び力」
 - ・子どもと本気でじゃれついて遊べる
 - ・夢中になって遊ぶことができる
 - ・自分の好きな遊びをもっている
- ◇「子ども力」
 - ・子どもの遊ぶ仕草や言葉に共感できる
 - ・自分の子ども時代を懐かしく思い出すことができる
 - ・子どもを愛おしく、かわいいと思える
- ◇「遊び力」+「子ども力」
=子育てがかわいがりずむ

親子遊びのレッスン

- ・じゃれつきだっこ遊び
- ・工作・皿回し

親子で作成した段ボール箱の空気砲



- ③ THE BOSAI 2017 楽しく学ぼう 防災のウラ技

◇スタンプラリー形式で体験コーナーに参加した。



- ◇非常食体験と震災アニメ上映には、体験者が集中しないように学年ごとに時間を割り振った。
- ◇グラウンドでは、消防操法の見学と、ドローン撮影実演が行われた。



校区まちづくり協議会と共催



親子のコミュニケーションが深まる工夫

親子研修会も防災の体験活動も、親子共に参加することで、学んだことが家庭での会話やふれあいにつながる内容になっている。防災の学習は、親子で一緒にコーナーを回り、体験したり非常食を試食したりする等、楽しみながら体験する活動になっている。



学校とまちづくり協議会との協働

まちづくり協議会の計画内容を、学校と協議会両者の担当者が数回の検討会を重ね、調整しながら計画を進められた。また、昨年度開催時の反省を生かし、全校児童・保護者が参加しやすい土曜日開催にし、多くの家族が防災への意識を高める機会になっている。

- 8か所の学びのコーナー
- *災害紙芝居
 - *おたま劇場
 - *応急手当ゲーム
 - *ジャッキアップゲーム
 - *家具転倒ゲーム
 - *毛布で担架トライアル
 - *震災アニメシアター
 - *グラグラ地震体験



<保護者の感想>

- ・親子研修会の講演では、話を聞くだけではなく親子と一緒に工作をしたり遊んだりすることができたので楽しかった。
- ・学校とPTAと地域が一緒になって防災について考えるよい機会だった。まち協とタイアップして行うことは効果的だと思った。

<取組の成果>

- ・親子研修会の講師選定や依頼について、まちづくり協議会の協力を得ることができ、親子で楽しく遊んだり触れ合ったりする、大変有意義な会になった。
- ・防災教室では、地域の方が講師として指導して下さることで、学校や児童の様子を知っていただき、つながりを深める良い機会になった。